

【放送台本】

司会 「司会の木村です。文化祭のテーマとしてみなさんから出してもらったアイデアの中から、候補が二つに絞られました。一つは『未来への挑戦』、もう一つは『記憶』です。どちらが文化祭のテーマとしてふさわしいか、最終決定をします。川野さんから意見を聞かせてください。」

川野 「僕は、『記憶』のほうがいいと思います。理由は、今年が我が校の創立五十周年にあたるからです。」  
司会 「青木さんはどうですか。」

青木 「はい。私は、『未来への挑戦』がいいと思います。私も今年が我が校の創立五十周年にあたることです。理由です。『未来への挑戦』はこれまでの五十年を踏まえて、さらに発展することを予感させるテーマとなっていて、ふさわしいと思います。」

司会 「お二人とも創立五十周年にふさわしい文化祭のテーマを選ぶべきだと考えているのですね。その意味では、『未来への挑戦』も『記憶』もふさわしいようですね。では、二つのテーマの違いはどんなところですか。川野さんからお願います。」

川野 「『未来への挑戦』は、今年を新たな出発点としてとらえている感じがします。一方、『記憶』は、今年を我が校の五十年の総まとめとしてとらえている感じがします。」

司会 「では、青木さんどうぞ。」

青木 「今年、創立五十周年ということで、文化祭には卒業生もたくさんいらつしやると思います。その場合、『未来への挑戦』というテーマは、今の私たちの姿をみなさんに見てもらおうとしている感じがします。一方、『記憶』というテーマは卒業生のみなさんにも懐かしく、一緒に楽しんでもらおうとしているような印象を受けます。」

司会 「二人の意見をまとめると、二つのテーマは、どちらも創立五十周年にふさわしいけれど、向かっている方向が異なっている、ということですね。では、方向性も踏まえて文化祭のテーマを選びましょう。」

(1)~(4)  
×モ 17点×5  
5点×3

(4)	(3)		(2)	(1)
ウ	②	①	ア	文化祭
	卒業生	出発点		

聞き取りメモ

C	B	A
総まとめ	出発点	創立五十周年

(1) 司会者の話から聞き取り。

**採点基準**  
ひらがなでも可。  
「今年の文化祭」でも可。

(2) 司会者がまとめた発言を参考にするとよい。

(3) まず、表が何を表しているのかをとらえる。聞きながら取ったメモをもとにまとめよう。

**採点基準**  
ひらがなでも可。  
①は「新たな出発点」、  
②は「卒業生のみなさん」でも可。

(4) 司会者はどちらかの意見に賛成したり反対したりせず、公平な態度で話し合いを進めている。

聞き取りメモ

話し合いをメモに取るときは、発言者ごとに発言内容をしっかり区別しよう。

司会をするときは、意見を公平に聞き取る。また、それぞれの意見を整理して示すことも大切だよ。

